

平成30年度図書館事業評価結果について

河内長野市立図書館（図書館）では、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文部科学省告示）に基づき、図書館サービスその他図書館運営の維持・向上を図るため平成26年度から図書館事業評価を行っています。平成30年度の図書館事業評価結果について、取りまとめましたので公表します。

図書館は、平成26年2月15日付け河内長野市図書館協議会（図書館協議会）の答申を受け「河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針」（基本的運営方針）を平成26年3月31日付けで決めました。平成26年度から基本的運営方針に基づき図書館サービスその他図書館の運営に関する指標を選定、指標に係る目標を設定するとともに、年度毎に事業計画を策定し、目標及び事業計画の達成状況等に関し自己点検及び評価を実施、その結果を「河内長野市立図書館事業評価」として公表します。

1. 点検及び評価の目的

- ・ 基本的運営方針に基づいた運営がなされていることを確保し、事業水準の維持・向上を図ります。
- ・ 点検及び評価は各年度の事業計画に対し実施します。
- ・ 点検及び評価実施結果は速やかに公表します。

2. 評価の方法等

基本的運営方針に基づき策定した事業計画の達成状況を指標並びに指標に係る目標等により3段階の評価基準で点検・評価を実施します。また、図書館協議会に達成状況等評価（総評）を得ます。

実績は1月末現在の数値に3月末までの推計を含めて算出します。

- ・ 評価基準（端数切捨て）
 - A…達成した（90%以上） B…ほぼ達成した（89%～61%）
 - C…達成できなかった（60%以下）

河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針

図書館法に基づき、誰もが気軽に安心して利用できる市民生活に役立つ図書館をめざして、市民の皆さんとともに積極的な図書館運営を進めるため、河内長野市立図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針をつぎのとおり定めます。

- ・ 図書館機能の充実を目的に児童サービスやレファレンスサービスを始めとする各種サービスの向上を図ります。
- ・ 「読書のまち河内長野」実現を目的に図書館や公民館図書室の資料を整備充実し、その利用を促進します。
- ・ 郷土歴史資料や行政資料の収集保存を進め、その普及啓発と活用を図ります。
- ・ 読書活動を推進し、子どもたちや市民の読書習慣の定着化を図ります。
- ・ 図書館を利用することで市民自らの課題が解決できるよう、図書館資料の活用を促進します。
- ・ 市民の協力を得てより良い図書館サービスを提供するため、ボランティア活動の機会、場所の提供やボランティア講座の実施に努めます。
- ・ 図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修の実施等に努めます。
- ・ 安全で安心な図書館の読書環境を維持します。

平成26年3月31日
河内長野市立図書館

平成30年度河内長野市立図書館事業評価結果

1. 実績、自己評価、自己評価説明（点検）

- ① 市民の資料要求に応え、さらにその要求を広め高めて行くため、良質な資料を収集・提供します。

指標…図書館利用者数、一人当たり貸出冊数、大活字本、録音図書

目標…図書館利用者数 621千人

一人当たり貸出冊数 10.0冊

大活字本 前年2,457冊を20冊更新

録音図書 前年1,143タイトルを50タイトル更新

実績…図書館利用者数 594,173人

一人当たり貸出冊数 9.5冊

大活字本 前年2,457冊を103冊更新

録音図書 前年1,143タイトルを56タイトル更新

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明（点検）】

図書館利用者数は目標を95%達成していることから自己評価をAとしました。

公民館や自動車文庫のサービスポイントの利用は昨年並みの数字でしたが、図書館は蔵書点検に加えてシステム更新・2階フロアの照明LED工事の実施により10月1日～15日まで閉館、16日～11月12日まで2階フロアの閉鎖を行った影響で利用者の減少となりました。

（2階フロアの照度が上がり、より良い読書環境を実現しました。）

一人当たり貸出冊数は、目標を95%達成していることから自己評価をAとしました。わずかに減少傾向ではありますが、同規模人口（10万人以上12万人未満）の自治体の中では高い貸出冊数（全国1位）を維持しています。（参考：全国における人口1人あたりの貸出冊数 5.26冊）今後も社会状況や利用者ニーズに沿った展示を行ったり、講座と連携した出前貸出を行うなど、図書館資料が活用されることにより貸出冊数の増加につながるよう取り組んでいきます。

大活字本は、目標を515%達成していることから自己評価をAとしました。

これらの新たな資料が活用されるようPRや、高齢者施設などへの団体貸出しをすすめていきます。平成27年度から毎年希望される団体を募集してパック貸出（H27年度2団体、H28年度2団体、H29年度3団体、H30年度4団体）を実施し、年6回入替を行っています。

録音図書は、目標を112%達成していることから自己評価をAとしました。

これらの新たな資料が活用されるようPRや、高齢者施設などへの団体貸出しをすすめていきます。

- ② 地域文庫、幼稚園・保育所及び放課後児童会等への団体貸出の利用を促進するため、資料集配送を継続実施します。

指標…配送件数、配送冊数

目標…配送件数 170件

配送冊数 8,000冊

実績…配送件数 275件

配送冊数 12,572冊

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明（点検）】

配送件数については161%、配送冊数については157%目標を達成していることから自己評価をAとしました。

昨年と同様、放課後児童会への配送件数が一番多くなっていますが、児童会とともに小学校でも継続して利用されています。今後も学校支援用図書も含めた資料の整備に努め、学校図書館司書とも連携しながら子どもたちへの読書機会の提供に努めます。

- ③ 市民の身近な施設としてのサービス機能の充実を図るため、自動貸出機を導入するなど利便性の向上に努めます。

指標…自動貸出機による貸出冊数割合、図書館年度間開館日数、
図書館年度間開館時間数（年度合計）

目標…自動貸出機による貸出冊数割合 25%

図書館年度間開館日数 296日

図書館年度間開館時間数 3,108時間

実績…自動貸出機による貸出冊数割合 23%

図書館年度間開館日数 296日

図書館年度間開館時間数 3,104.5時間

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明（点検）】

各指標とも目標を92%以上達成していることから自己評価をAとしました。

自動貸出機の利用状況は、1月末現在、利用人数36,096人、貸出冊数157,537冊で、図書館での貸出冊数のうち21%でした。10月1日から11月12日まで照明のLED化工事のため2階フロアを閉鎖したことによって、自動貸出機2台のうち2階に設置している1台を稼働できなかった影響で減少しています。

蔵書点検、図書館システムの更新、LED工事を計画期間内で実施しました。

9月30日は台風24号の影響でキックスに避難所が開設されたため16時30分で臨時休館しました。そのため開館時間が3.5時間減となっています。

- ④ インターネット端末席の設置やメールマガジンの発信、レファレンスデータベースの公開などITを活用した図書館サービス機能の充実をすすめます。

指標…レファレンスデータベースの公開件数、インターネット・オンラインデータ

ベース端末席利用者数、W I - F I 利用登録者数

国立国会図書館が提供する歴史的音源や電子書籍の利用回数（年）

目標…レファレンスデータベースの公開件数 前年度末70件を12件増
インターネット・オンラインデータベース端末席利用者数 500人
W I - F I 利用登録者数 累計860人

国立国会図書館が提供する歴史的音源や電子書籍の利用回数（年） 10回

実績…レファレンスデータベースの公開 前年度末70件を12件増
インターネット・オンラインデータベース端末席利用者数 2,955人
W I - F I 利用登録者数 累計955人

国立国会図書館が提供する歴史的音源や電子書籍の利用回数（年） 13回

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明（点検）】

レファレンスデータベースの公開は、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。今後もレファレンスデータベースの公開事例を積み上げることによって、利用者の利便性の向上に努めます。

インターネット・オンラインデータベース端末席利用者数は、目標を591%達成していることから自己評価をAとしました。平成30年4月から、キックスのエントランスに設置されていたインターネット端末2台を図書館内に移設しました。データベース端末と併せて3台となり、インターネット利用が飛躍的に増えました。

W I - F I 利用登録者数は、目標を111%達成していることから自己評価をAとしました。平成28年6月から設置しており、今後も利用の促進に努めます。

国立国会図書館が提供する歴史的音源や電子書籍の利用回数については、目標を130%達成していることから自己評価をAとしました。平成29年6月から歴史的音源を、平成30年2月からデジタル化資料送信サービスの提供を始め、図書館だよりやメールマガジン等を通じてPRし普及啓発を図っています。

⑤ 市内全域への図書館サービス提供のため、図書館、公民館や自動車文庫等の全体の蔵書構成を考えた資料収集を行います。

指標…図書館と公民館との相互貸借冊数

公民館図書室、自動車文庫の蔵書整備

リサイクル本をコミュニティセンター等へ配備

目標…図書館と公民館との相互貸借冊数45,000冊

公民館図書室の蔵書整備 前年61,982冊を1,100冊更新

自動車文庫の蔵書整備 前年18,796冊を500冊更新

リサイクル本をコミュニティセンター等へ配備（5箇所から1箇所増）

実績…図書館と公民館との相互貸借冊数45,000冊

公民館図書室の蔵書整備 前年61,982冊を1,150冊更新

自動車文庫の蔵書整備 前年18,796冊を450冊更新

リサイクル本をコミュニティセンター等へ配備（5箇所から1箇所増）

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明（点検）】

図書館と公民館との相互貸借冊数は、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。図書館の資料を予約して最寄りの公民館図書室に取り寄せて借りるなど、図書館ネットワークの利便性が市民へ浸透しています。

公民館図書室の蔵書整備は、目標を104%達成していることから自己評価をAとしました。今後とも魅力ある公民館図書室の蔵書を整備し、図書館ネットワークの利便性を高めていきます。

自動車文庫の蔵書整備は、目標を90%達成していることから自己評価をAとしました。今後とも魅力ある自動車文庫の蔵書を整備し、図書館ネットワークの利便性を高めていきます。

リサイクル本をコミュニティセンター等へ配備については、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。現在、小山田・日野・清見台の3つのコミュニティセンターと公園緑化協会、寺元記念病院の5カ所にリサイクル本コーナーを設置しています。今年度末までに、るーぷらざへの設置を進めていきます。地域での読書の振興や交流支援のため、身近な図書コーナーを継続設置し、年1回設置資料の更新を行っていきます。

⑥ 郷土歴史資料の普及啓発と活用を図るため、関連講座及び資料の展示を行うとともに保存修復を行います。

指標…開催講座数、講座関連資料の展示、保存修復、講座での出前貸出

目標…開催講座数 4講座
(古文書初歩1(3コマ)、古文書入門1(3コマ)、歴史2)

講座関連資料の展示 4回

保存修復 2点

講座での出前貸出 9回

実績…開催講座数 4講座
(古文書初歩1(3コマ)、古文書入門1(3コマ)、歴史2)

講座関連資料の展示 4回

保存修復 2点

講座での出前貸出 17回

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明（点検）】

講座数、展示回数ともに目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。郷土歴史資料の普及啓発と活用を図るため古文書講座(初歩の初歩3コマ・入門編3コマ)各1講座、図書館歴史講座2講座(計2コマ)を開催。各講座の満足度は80%以上でした。

関係資料として「証文(市村新田3年年貢免除等につき)」「覚(入会山松茸売り代割合銀受取につき)」「郷学校仕法并御届書」「長野遊園地設立趣意書」などを展示しました。

保存修復は、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。

修復後の資料は、図書館内に展示し、郷土歴史資料の普及啓発と活用を図っていきます。

講座での出前貸出は、目標を188%達成していることから自己評価をAとしました。図書館資料の活用として、他課主催の講座会場での出前貸出(24冊)を実施しました。

- ⑦ 生涯学習機会の拡大のため、他の公立図書館等との連携を一層図り、広域相互利用を実施し、もって交流市民の拡大を図ります。

指標…広域登録者数

目標…広域登録者数 前年6,435人を7,000人

実績…広域登録者数 前年6,435人を7,000人

◎自己評価 A

【自己評価説明(点検)】

広域登録者数は、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。市民の生涯学習機会を拡大するため今後とも広域相互利用を実施します。(14自治体：大阪市、東大阪市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、橋本市、五條市)

また、広域相互利用を締結している富田林市、大阪狭山市の市立図書館とともに「三市図書館連携講座」を開催し、南河内の地理や文学を広く知る学習機会を提供しました。

- ⑧ 「河内長野市第3次子ども読書活動推進計画」(平成28年度～平成32年度)に基づき関係機関との連携を図りながら子どもの読書活動を推進します。

指標…18歳以下登録者率、ブックリストの作成・配布

小学生向けパスファインダー(情報の調べ方ガイド)作成

中・高校生向けパスファインダー作成

目標…18歳以下登録者率 40%

ブックリストを毎月発行、市内小・中・高等学校や8公民館へ配布

小学生向けパスファインダー 3テーマ改定(平成27年度作成分)

中・高校生向けパスファインダー 1テーマ作成

実績…18歳以下登録者率 46%

ブックリストを毎月発行、市内小・中・高等学校や8公民館へ配布

小学生向けパスファインダー 3テーマ改定(平成27年度作成分)

中・高校生向けパスファインダー 1テーマ作成

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明(点検)】

18歳以下登録者率は、目標を115%達成していることから自己評価をAとしました。4か月児健診での「ようこそえほんといっしょ」の事業で出前登録・貸出(登録者数72人、貸出冊数133冊(1月末現在))を行いました。平成29年度から中学1年生の図書室オリエンテーションでの利用者カード登録を1学期中に実施し、

今年度は95人の登録がありました（再発行も含む）。小学3年生の施設見学や小・中学校でのえほんのひろばの際に、児童に図書館の利用や登録のPRを織り交ぜてガイダンスを行いました。学校向け「えほんのひろば」巡回の継続実施や学校図書館が実施する「読書ノート」への参画など学校との連携、また乳幼児健診でのPR等、関係各課との連携に努め、18歳以下の登録者数の維持・向上に取り組みました。

ブックリストを毎月発行、市内小・中・高等学校や8公民館へ配布は、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。今後も引き続き、子どもの読書活動を推進するため学校ほか関係機関と連携してブックリストを作成・配布し利用者教育に活用していきます。

小学生向けパスファインダー、中・高校生向けパスファインダーは、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。今後も引き続き、対象に応じたパスファインダー（情報の調べ方ガイド）の作成とともに、作成から年数の経過したものの内容を更新し、最新の情報を提供するように努めます。

- ⑨ 子どもたちや市民の読書活動の推進を図るため、地域、学校やボランティア等と連携し、おはなし会などを実施します。

指標…おはなし会等開催回数、おはなし会等参加者数

目標…おはなし会、おはなしウォッチング、クリスマス会、夏休みおはなし会

合計開催回数87回 合計参加者数 690名

実績…おはなし会、おはなしウォッチング、クリスマス会、夏休みおはなし会

合計開催回数87回 合計参加者数 617名

- ◎自己評価 おはなし会等開催回数A、おはなし会等参加者数B

【自己評価説明（点検）】

おはなし会、おはなしウォッチング、クリスマス会、夏休みおはなし会について開催回数は目標を100%達成していることから自己評価をA、参加者数は89%達成していることから自己評価をBとしました。

ようこそえほんといっしょ事業でのPR、ミニコミ誌や関係機関（あいつく）との連携を通じて参加人数の向上に取り組みました。

定例おはなし会の参加者数 水曜：38回200人（14時30分～19回104人、15時30分～19回60人）、土曜：29回168人（第1土曜9回48人、第3土曜10回47人、第4土曜10回73人） ※平成31年1月末実績

定例おはなし会の参加者数は、昨年並みを維持しましたが、おはなしウォッチング、クリスマス会、夏休みおはなし会のイベント参加人数が減少しています。

指標以外の取組として、地域教育推進課との共催で夏休み子ども教室のおはなしのじかん（開催2回、参加者数37人）や、国際交流協会と共催で英語の絵本の読み聞かせ（開催1回、参加者数51人）を実施しました。

- ⑩ 子どもたちに絵本に親しむ機会を提供するため、学校や放課後児童会などで「えほんのひろば」の巡回展を実施します。

指標…参加者数、うち異年齢交流参加者数

目標…参加者数	4, 000人
うち異年齢交流参加者数	1, 000人
実績…参加者数	5, 294人
うち異年齢交流参加者数	1, 800人

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明（点検）】

「えほんのひろば」について、目標を達成（参加者数132%、異年齢交流参加者数180%）していることから自己評価をAとしました。

市内の小学校13校、中学校2校で実施しました。

このほかにも、夏休み子ども教室2018：228人（1回）、美加の台学園祭：450人（1回）、花の文化園278人（2回）、あいつく（3月23日24日実施）の異年齢交流で、えほんのひろばを出展しました。

今後とも運営方法やプログラム内容について検討を加えながら、学校関係者の協力を得るなど、より充実して継続できるよう努めます。

- ⑪ 図書館資料の利用を促進するため、生活に役立つ図書館講座や児童を対象とした利用者教育講座（資料の探し方等）を開催します。

指標…開催講座数、参加者数

目標…開催講座数	8講座
参加者数	130人
実績…開催講座数	9講座
参加者数	225人

◎自己評価 各指標ともA

【自己評価説明（点検）】

開催講座数は、目標を112%達成していることから自己評価をA、講座参加者数は、目標を173%達成していることから自己評価をAとしました。

- ・図書館マスター2講座（小学生3年生～6年生対象）
- ・図書館探検ブック配布イベント1日（小学生対象）

※図書館探検ブックは当日配付32冊、夏休み期間中配付合計300冊

- ・生活に役立つ図書館講座（財産管理、教育費、英語多読、創業計画、金剛山）5講座
- ・三市図書館連携事業（楠公史跡をめぐる明治の文人画家 富岡鉄斎）1講座

今後も図書館資料の利用促進のため、地域や近隣市の図書館と連携を取りながら様々なアプローチの講座を開催します。

- ⑫ ボランティア活動の充実を支援するため、読み聞かせボランティア講座やスキルアップ講座を実施します。

指標…開催講座数	
目標…開催講座数	3講座（9日）
実績…開催講座数	3講座（9日）

◎自己評価 A

【自己評価説明（点検）】

開催講座数は、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。

- ① 「すぐに役立つ読み聞かせボランティア講座（5回）」
 - ② 「読み聞かせボランティア フォローアップ講座（1回）」
 - ③ ボランティアスキルアップ講座「絵本を読み込み評価するために（3回）」
- 以上3講座（9回）を開催。

始めて間もない初心者の方向けの入門講座から、継続して活動しておられる方向けのスキルアップ講座まで、網羅的に研修の機会を提供しました。図書館と協働して地域や学校での読書推進を担う人材を育成するため、引き続きボランティア活動の充実を支援します。

- ⑬ 市民の理解と協力を得て図書館の良好な読書環境の維持、利用マナーの向上を図ります。

指標…マナー向上キャンペーンの実施回数

目標…マナー向上キャンペーンの実施回数2回

実績…マナー向上キャンペーンの実施回数2回

◎自己評価 A

【自己評価説明（点検）】

マナー向上キャンペーンの実施回数は、目標を100%達成していることから自己評価をAとしました。資料の水漏れ防止キャンペーン（貸出時に声かけやチラシ配付）を実施しました。

- ⑭ 図書館司書及びその他の職員の資質・能力の向上を図るため、継続的・計画的な研修の実施等に努めます。

- ・ 文部科学省主催 地区別研修（近畿）
- ・ 近畿公共図書館協議会主催研修
- ・ 大阪公共図書館協会主催研修（司書セミナー）

指標…研修（館外）数、研修参加者数、利用者の職員対応満足度

目標…研修（館外）数 9講座

研修参加者数 18名（延べ）

利用者の職員対応満足度 5段階で平均4以上（図書館アンケート）

実績…研修（館外）数 14講座

研修参加者数 14名（延べ）

利用者の職員対応満足度 5段階で平均4.4（図書館アンケート）

◎自己評価 研修（館外）数A、研修参加者数B、利用者の職員対応満足度A

【自己評価説明（点検）】

目標に対し、研修数は155%達成・自己評価をA、参加者数は77%達成・自己評価をB、利用者の職員対応満足度は110%達成・自己評価をAとしました。

- ・ 文部科学省主催 地区別研修（近畿） 4講座 4人受講

- ・近畿公共図書館協議会主催研修 1講座 1人受講
- ・大阪公共図書館協会主催研修 司書セミナー 9講座9人受講

指標に挙げている研修では、業務の都合などで1講座に対して複数の派遣はできなかったため、参加者数の目標を達成することができませんでした。しかし、大阪公共図書館協会では司書セミナー以外にも各専門分野に合わせた研修を開催しており、今年度は下記の研修に職員を派遣しています。

- ・OLA研修会 2講座5人受講
- ・障害者サービス実務研修 3講座3人
- ・参考業務実務研修 2講座2人
- ・児童サービス実務研修 1講座1人

図書館アンケートによる利用者の職員対応満足度は、5段階で平均4.4であり、さらに職員の接遇の向上に努めます。

⑮ 危機管理マニュアルの整備、職員に対して防火訓練をはじめAED講習や防犯講習等を実施します。

指標…防火訓練等実施回数

目標…防火訓練等実施回数 5回

実績…防火訓練等実施回数 6回

◎自己評価 A

【自己評価説明（点検）】

防火訓練等実施回数について、目標を120%達成していることから自己評価をAとしました。複合施設にあることを踏まえ関係機関との連携を図り利用者の安全安心に努めます。

実施内容（実施日）

- ・救命講習 10/10
 - ・大阪880万人訓練 予行演習 8/6
 - ・大阪880万人訓練職員訓練 9/5（中止）
- ※台風21号により府内各地域に被害が発生し、訓練を実施することがふさわしくないと判断されるため中止となりました。（大阪府庁より）
- ・不当要求への対応研修 12/3 2/11
 - ・自衛消防訓練 7/16 2/11

2. 図書館協議会による達成状況等評価（総評）

図書館事業に係る図書館の自己評価並びに自己評価説明（点検）を踏まえ実施した達成状況等評価（総評）は以下のとおりです。

平成31年3月31日 河内長野市図書館協議会 会長 佐藤 敏江

記

1. 事業計画に基づき設定した目標を概ね達成している。今後とも事業の適正化、図書館サービスの向上に努められたい。
2. 自己評価において「B」となったものについては原因を分析し、来年度において評価が「A」となるように努めるとともに、目標設定が実現及び持続可能なものであるかを検討し、次年度の目標設定をされたい。また、達成度100%を超えているものについて、よりサービスの向上となるよう目標設定を再考されたい。
3. 設定されている指標及び目標が事業の成果を的確に評価できているものであるか、状況の変化に対応できているかを含めて検討していただきたい。
4. 総評並びに下記に示す各委員からの意見を参考に図書館事業の充実に努められたい。

【図書館協議会委員の意見】

図書館事業に係る図書館協議会委員の意見は次のとおりです。（図書館協議会会議での事業に係る意見の要旨を掲載）

- 1 . . . ⑭研修参加者数についてB評価となっており、一つの研修に対して複数で出席させることが出来なかったということですが、出席させたくてもタイミングを逃したら行けない。民間の研修などにも参加しているけれども指標に挙げている研修に対しては、これだけしか行けていないということになる訳ですね。計画を立てる時には、そういう明らかに実施されるものを出しておかないといけない。こういう評価というものは難しいですね。今回も挙げているからこれに対してはどうだったということが出る。
- 2 . . . ⑪講座について、会場の定員や先着順での申込みなどいろいろあると思いますが、募集が1か月前だったりすると参加できるか予定がわからない方もいると思いますので、当日参加などの配慮があればもっと参加者が増えるかなと思われます。
- 3 . . . ⑩イベントをやる場合に、当日空席があれば受け入れしますという工夫をしていただけたらうれしいなと思います。入れるかどうか分からないけれど空席待ちしますという熱心な人は順番にいれてあげるとか、そういう風な

ことができればいいかなと思います。

(全体) 指標は数字で出さないといけないので、質が出てこないのは致命的なところ、そこがうまく説明できるようになればよいといつも思っております。表に出るのはBであっても、最終的に分析のところで原因が分かっている、実際こういうこともやっている、幅が広がっているというのがあればそれは立派なBというか、数字だけクリアしたというよりもずっと意味があるのではないかなと、そう思います。

- 4 . . . (全体) 指標についてなんですが、指標が一方向ではなくて多様な指標があった方がよいというのは協議会で何度も話題になったところなんですけれども、講座の話聞いていて、例えば定員に対して多くの申し込みがあるということは、それだけ魅力のある講座を企画できたということで、それは評価に値することではないかと思います。逆に講座を企画しても殆ど人が集まりませんということになれば、それは企画力という意味では劣っていたのかなとか、講座が魅力的かどうかというのが定員を充足したかどうかとも一辺倒には言えないのだけれども、でもそういう指標も考えられるのではないかという風に感じました。

去年、数字だけでは表れないところをコメントで出してくださいということを協議会で申し上げて、B評価だけれどもこういうこともやっている、実際はA評価に値するのではないかというのを説明いただけただけのはとても良かったと思います。

- 5 . . . (全体) 目標を定めて、例えば500何%とか大幅な達成率のところもありますし、そもそも目標が想定外、いや結果が想定外だったのか、もう少し目標を高く位置づけておいて結果を見る形にした方が良かったのか。事務局の分析の部分や、来年更にこの部分を増やしていきたいとか、これに力を入れていきたいとか、そういう思いが分かったらいいかと思います。